

会 議 録

1 会議名

令和元年度 第12回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

① 地域協議会だよりの配布方法について（結果報告）

(2) 自主的審議事項（公開）

○ あらゆる世代が心豊かに健康で暮らせる春日区とする方策について

○ 春日山城跡の観光振興策について

○ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について

(3) 協議事項（公開）

① 次期委員への申し送り事項について

3 開催日時

令和2年2月18日（火） 午後6時30分から午後8時10分まで

4 開催場所

市民プラザ 多目的学習室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：今井 孝、太田一已、大竹明德（副会長）、金子隆一、渋谷 俊（副会長）、
田沢 浩、谷 健一、野澤武憲、藤田晴子、星野 剛、吉田幸造（会長）、
吉田 実、鷺澤和省（欠席6人）

・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

・ 会議の開会を宣言

・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【吉田会長】

- ・会議録の確認：野澤委員に依頼

議題に入る。次第2 議題(1) 報告事項の「① 地域協議会だよりの配布方法について（結果報告）」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・春日地区町内会長連絡協議会との協議の結果、従来どおり全戸配布で対応いただけることとなったことを報告

【吉田会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

以上で、次第2 議題(1) 報告事項の「①地域協議会だよりの配布方法について（結果報告）」を終了する。

次に、次第2 議題(2) 自主的審議事項に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料1に基づき説明

【吉田会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

それでは、本件の今後の取り扱いについて確認する。現委員は4月に任期満了を迎えるが、各町内会長からも同様の課題提起をいただいていることから、これまでの経過を次期委員に伝え、市の検討がまとまった段階で改めて対応を審議してもらうこととし、その旨を申し送ることとしてよいか。

(よしの声)

意見書の取り扱いについては、次期委員にきちんと申し送り、改めて審議してもらうこととする。

次に分科会の開催について、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

・資料 2、福祉分科会 別紙、観光分科会 別紙に基づき説明

【吉田会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

それでは分科会を開催願う。

— 分科会 (30分) —

【吉田会長】

会議を再開する。最初に福祉分科会より分科会の活動のまとめを発表願う。

【谷委員】

資料 2 記載の「2. 検討の視点」についてである。「高齢者が」「高齢者の」との記載になっているため、「あらゆる世代」「各世代」との文言に置き換えて表現したいと思う。

次に「3. 検討の方向性」記載の「まちづくり振興会のような組織づくりを提案したい」については、このまま継続課題として活かしていきたいと思っている。次に意見書については提出できる状態ではないと思っている。

次に「4. まとめ」については、他地域の実態調査を行ってきたが、そういった中から具体的なものを把握していきたいと考えている。これについては金谷地区や三郷地区等に聞き取りに行っているため、調査内容を報告したいと思う。これらの問題については具体的に申し送りできるところまではきていないが、これまでに町内会長連絡協議会との懇談会を 2 回開催でき、今後町内会長の異動等が落ち着いた後に改めてもう 1 回開催したいと考えている。結果的にはこれまで開催できなかった懇談会が 2 回開催でき、次に繋げていけるところまできている。これらをまとめて申し送り事項としたいと思う。

【吉田会長】

次に観光分科会より発表願う。

【田沢委員】

資料記載のとおり了承された。

内容としては、「3. 検討の方向性」記載の計画として三つを取り上げたが、様々な観

点から、結果的に「②特産土産品の企画、開発、販売」に取り組むことに落ち着いた。現在、試作までが終わり製品化できるのかについて話をもんでいる段階である。残った「①謙信ロードの構築と歓迎旗の常設設置」「③体験型観光を目指す」と合わせて、先般の春日地区町内会長連絡協議会との情報交換会の際に意見があった「観光駐車場の整備」や「案内標識板の設置」等を申し送り事項としたいと思っている。

さらにもう一点、今期の観光分科会では「特産品の開発」に絞り一生懸命に進めてきたが、やはり地域の盛り上がりが必要だと思うため、資料 2「4.まとめ」の「申し送り事項」に記載している「特産品の企画・開発・販売における実施団体の掘り起こし」を申し送り事項に加えていきたいと思っている。地域全体をソフト面で盛り上げられるよう、地域協議会の活動を通じた実施団体の掘り起こしについて申し送りしたいと思う。

【吉田会長】

次に安全安心分科会より発表願う。

【吉田 実委員】

安全安心分科会としては「4.まとめ」の部分のみ報告を行う。「4.」以外については問題ないと思う。まず、「実施事項」の「①交通危険個所の交通安全対策に係る意見書の提出」と「②ア・イ・ウ 春日区のリスクに関する検討」については、資料のとおりでよいと思っている。

次に「申し送り事項」についてである。「①交通危険箇所の交通安全対策に係る意見書回答のフォローアップ」とあるが、町内会長との情報交換会の際に、分科会が指摘した個所以外にも通学路等で危険個所の指摘・要望があったため、文章を改め、「その他危険箇所の洗い出しと対策についての継続的な検討」を明記したいと思う。次に「②安全・安心に係る勉強会の実施と自主審議の継続」については、防犯や空き家対策についての現状把握を進め、対策を検討してほしいと考えている。少し具体的なことを加えて表現できればと思っている。次に資料 2 に記載はないが「③災害対策」として町内会長より意見のあった水害について追加したい。以前の豪雨により土橋町内は実際に浸水したため、水門の管理や排水機場等の設置の要望等があった。水害の現状の状況把握と改善策については、水門の管理や排水機場の設置等を今後検討してほしいといった表現ができればと思っている。申し送り事項については大きく分けて 3 項目にまとめたいと思っている。

【吉田会長】

それでは、今ほど各分科会が発表した内容をこれまでの自主的審議事項のまとめとしたいと考える。発表内容について質疑を求める。

【渋木副会長】

観光分科会に質問である。申し送り事項の「②」の中で「特産品開発の実施団体の掘り起こし」とあり「支援事業の採択方針で優先的に採択するよう位置付け」との記載がある。これは「優先的に採択して欲しい」ということが申し送り内容ということか。

【藤井係長】

事務局より回答する。

資料2については、これまでの経過も含めて事務局が作成したものである。申し送り事項の表現についてであるが、例えば地区によっては、第一に優先すべき課題があり、採択方針の中で「特にこの内容の事業を募集したい」という書き方をしているところもある。特産品開発を進める一つの手法として、今後こういったことを優先採択方針に位置づけてはどうかという例示として記載したものである。

【渋木副会長】

承知した。

【吉田会長】

他に質問等あるか。

【鷺澤委員】

観光分科会に質問である。テーマとして「春日山城跡の観光振興策について」を掲げて始まったと思う。青芋かまぼこ等を特産品として製作することもよいと思うが、やはり春日区のメインは春日山城跡を核として観光振興策を行っていくということであるため、単に春日区のみで行っていくことは非常に厳しいと考えている。あるいは春日山城跡だけで観光振興というのは、色々な人の考えや文章等を見ても難しいと思う。そういう意味で、例えば他の地域や団体との連携や意見交換をするなど、上越市全体として観光振興策を考えていかなければ春日山城跡をクローズアップした状況は生まれてこないと思う。特産品の開発等については本当に頑張っていると思うが、他地域との連携や交流についてはどのように考えているのか。自分としては、むしろ深めていってはどうかと考えている。そのため、申し送り事項の中に軽くでも記載でき

れば、もっとよくなっていくような気がする。

【田沢委員】

鷺澤委員の発言のとおり、観光という分野では春日区に限らず、全市的なテーマだ
と思う。春日区という捉え方をすると、どうしても捉えどころがなくなってしまう。
先ほどの分科会でも、やはり市全体のビジョンや理念といった様々なものが盛り上がり、
イベントも含めて特産品や観光といった色々なものが発生してくるのだろうとい
う話が出た。盛り上げるためとして、②をソフト面としての春日区の考え方として記
載している。確かに、市全体で考えられればよいと思う。記載内容に含めて申し送り
たいと思う。例えば、「引き出せるような団体を探す」といったこととしたい。

【鷺澤委員】

田沢委員の考えは分かった。行政や商工会議所、あるいは他の地域でも、「上越市に
は水族博物館や高田城址公園、春日山城跡や前島密記念館等、様々な場所を見ながら
1日観光できるというように連携していければよい。自然も豊かであるため、そうい
ったところも利用していけば1泊できるような観光地になるのではないか」という意
見を聞いている。そういった方向で、春日山の観光開発や振興策についても若干視点
を広げて考えていくことができればと思っている。分科会の意見は基本的には尊重す
るが、もう少し幅を広げて申し送りしてもらえればと思っている。

【田沢委員】

趣旨は理解したため、分科会委員と改めて協議して進めたいと思う。

【吉田会長】

他に質問等あるか。

【吉田 実委員】

観光分科会についてである。二期目の地域協議会では、長野県に観光関係で視察研
修に行った。先進的な取組というか、住民が非常に熱心であり、そういった人たちが
中心となって城を修復するための予算を取るなどの活動を見てきた。実際に活動して
いるところ等の事例を参考に、「では春日山はどうするのか」といったことを考えても
よいと思う。そのため、視察研修や情報収集等も必要だと思う。また今期の地域協議
会では視察研修等がなかったため、なんだか寂しかったように思う。

【田沢委員】

申し送りの中で改めて検討したいと思う。

【吉田会長】

まずはまとめるのではなく、申し送りの中に入れ込むことも含めて検討したいと思う。観光については、荷物が大きすぎたと思っている。やること全てが市に関係することばかりである。そのため申し送りの際には、しっかりと記載できればと思っている。

【田沢委員】

それに加えて、今期の分科会の運営についてはいろいろと反省すべきところがあるため、それらも含めて申し送りたいと思う。

【吉田 実委員】

福祉分科会に質問である。町内会との懇談も非常に大切であるが、町内会以外の諸団体、例えば商工会や様々なボランティア的な活動団体といった幅広いところからの意見収集も大切かと思う。そういったことも少しばかり考慮してもらえればと思う。

【谷委員】

町内会長との懇談の中では、団体を探すといった話も出ている。そのため、引き続き進めていきたいと考えている。

【鷺澤委員】

補足である。福祉分科会では町内会長連絡協議会だけではなく、例えば福祉に関して三郷区や八千浦区、金谷区といった地域とも交流を始めた。また現在、高齢者の支え合いについての課題を話し合っているが、とりあえずは町内会長と基本的な事項についての話し合いを行い、その後に民生委員や様々な福祉に関わる団体等との交流や組織づくりを広げていこうと考えている。来年度はさらに基本を踏まえて発展させてはと考える。これについては次期委員へ引き継ぐことにはなるが、こういったことを参考に進めてほしいと考えている。

【谷委員】

先日、高田区の地域活動支援事業の採択を受けた団体がオーレンプラザで公演事業を行い、その中で、学校を移転して城の付近を整備してはどうかとの話が盛り込まれていた。春日区でも、教育大学前に駅を新設する話や学校移転の話があったが、他の団体で考えている内容の中で春日区にも関連するようなものが見受けられるように感じた。次期委員に引き継ぐことになるが、金谷区やほかの地区・団体と連携を図って進めてもらえれば、また違った取組が進められるように思う。

【吉田会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

以上をもって自主的審議事項のまとめとして、今ほど出た意見を入れ込み申し送り事項を作成してほしいと思う。以上で次第2 議題(2) 自主的審議事項を終了する。

次に次第2 議題(3) 協議事項の「①次期委員への申し送り事項について」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料3、資料4に基づき説明

【吉田会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

それでは、資料3に記載されている内容を前提に申し送ることとしてよいか。

(異議なし)

【今井委員】

資料4の申し送りとして、いくつか記載してはどうかと思うものがある。

地域活動支援事業のプレゼンテーションについては、先般の「次年度地域活動支援事業の採択方針等の検討」にて協議したため問題はない。

次に「2 自主的審議事項」についてである。先ほど吉田 実委員の発言と同様にはなるが、自主的審議事項の申し送り事項に「区内各団体との意見交換」との記載があればよいと思う。今期4年間の中で、当初より話が出ていながらもできなかったことだと思う。次期委員が今期委員の協議内容や結果等を参考に、自分たちが協議する内容等のヒントになると思う。福祉分科会に限らず、4年前に検討した中で町内会長との情報交換会は実施できたが、他にもいくつか名前の出た団体があったと思う。そのため「区内各団体との意見交換会」との記載をしてはどうか。

次に「3 その他の活動」についてである。自分たちは特に研修等を受けてこの場にいるわけではない。そのため議事進行や議論の仕方についての勉強会を実施してはどうかとの話が以前より出ていたと思う。結局、実施することはなく4年が経過してしまった。何度かでも研修会を実施できれば大分違うと思う。議事の仕方を知った上で議論してもよいと思う。

以上の2点を申し送り事項に加えてはどうかと考えている。

【吉田 実委員】

議事進行の仕方については、第二期地域協議会の際、ファシリテーターの研修を行っている。そのため、講師を呼んで議事進行に関する研修を最初に行うことはよいと思う。各グループに分かれて協議を進めるものもあるため、各委員が習得すべき事項かと思う。先ほど観光分科会の発表の際にも発言したが、それとプラスして地域協議会委員の資質向上のために年1回程度、外部の視察も含めて研修会はぜひとも行ってはどうかと思う。

【太田委員】

視察研修については、県外に限らず「他地域へ」としてもよいと思う。県外まで行かなくとも上越市内でも勉強になるところもあると思う。「春日区を出て」というかたちで他地域への視察があってもよいという記載の仕方がよいと思った。

【鷺澤委員】

申し送り事項ではなく今期を振り返っての感想である。

現在、行政で第6次総合計画との関連で行政改革等を進めており、事務事業評価の見直しについてかなりの数の案件を検討している。その中の一つとして、地域協議会の見直しについては、市議会でも問題になっており、本日アンケートも配布されている。そういう意味では、次期地域協議会については、市長からの諮問事項も非常に多くなり、まちづくりの根本を考える大事な協議会になっていくと思う。また自主的審議事項については、より発展させて春日地域を活性化していくという意見が分科会で集約されていくと思う。今期は欠席者が非常に多かったため、そういったことも踏まえ、地域協議会が設置された際の理念に基づき、委員としての自覚を持って対応してほしいと思う。地域協議会の重要性は、上越市の自治基本条例の中にも明記されている。個人的には、次期地域協議会委員には、原点に戻って活躍してほしいと思う。

【吉田会長】

自分も鷺澤委員の意見には賛成である。春日区地域協議会は高田区と同人数の20人の委員を擁している地域協議会である。

それでは、以上をもって活動のまとめとし、2月28日の活動報告会の資料とするとともに、次期委員に申し送るとしてよいか。

(よしの声)

以上で次第2 議題(3) 協議事項の「①次期委員への申し送り事項について」を終了する。

次に、次第3 その他の(1) その他に入る。事務局より2点説明があるとのことである。説明を求める。

【藤井係長】

まず、先般の地域協議会で、保育園の民営化についての経過報告を行った際の質問について、担当課の回答を確認したため口頭で説明する。

1点目は、田沢委員より質問された「保育園の民営化に関して審査基準・募集要項等は公開されているのか」との質問についての回答である。募集要項及び審査基準については、学識経験者、保育業務の精通者のほか、法人等の財務状況の把握分析に知見を有する委員等で構成される選定委員会において、策定したということである。審査基準については募集要項に載せ、審査の観点、審査内容及び審査項目をホームページに掲載し公表していたが、すでに募集が締め切られているため現在は掲載されていない。本日、資料を持参しているため、希望する委員は見てほしい。

次に鷲澤委員より質問された「地域協議会以外の場所で出た、地域協議会とは異なった質問があれば教えて欲しい」との質問についての回答である。移管に関する取組で対象としている園は、つちはし保育園、春日保育園、なおえつ保育園、さんわ保育園の4園である。そのため直江津区と三和区の地域協議会、また地域や町内会等にもそれぞれ説明が行われている。保護者からは、公立保育園から私立保育園に変わることへの不安感、また現在の公立保育園の保育内容を民間移管後も継続して欲しいといった声があったとの話である。一方、民間移行後の保育サービスの充実を期待しているとの声も多く寄せられた。また、多様化していくニーズ・価値感、宗教観も含め、民間移管後も配慮してほしいとの声があったほか、地元町内会からは、保護者に対して丁寧に説明するようにとの要望があったとのことである。これらについてはその園の移管先と市と保護者が入った3者協議の中で調整していくとの話であったため、それぞれ対応を進めていくものと考えている。

保育課からは、民間移管先が決まり次第報告があると聞いているが、タイミング的に次期委員への報告となることも考えられる。

・「地域協議会に関する意識調査」の概要説明と回答のお願い

【吉田会長】

ほかはないか。

【鷺澤委員】

春日山荘についてである。以前、高齢者支援課と上越市社会福祉協議会が地域協議会に説明に来た際に、大きな変化があった際には必ず地域協議会に説明や報告をしてほしいとお願いした。春日山荘の利用者より、来年度廃止するといった話を聞いていたが、次年度も補助金が出るため利用継続できることになったと聞いた。その利用者より詳細な資料を見せてもらったため、自分は細かい内容を知ることができた。本来であれば本日、事務局や担当課より説明がされると思っていたが、事務局では春日山荘の次年度の運営について把握しているのか。事務局ではなく担当課からの説明があるのか、または把握していながらも本日報告のなかった理由等があれば聞きたい。

【藤井係長】

本日、来年度予算案が公表された。現段階では案であるため確定したものではない。春日山荘関係の予算についても、例年と同じように要求するとの途中経過は聞いていた。春日山荘の見直しについて、例えば極端な言い方をすると廃止する等の話があった際には、地域協議会に対してきちんと説明や報告をしなければならないとは思っているが、現状はまだ変更等はない。そのため本日の段階では、改めて説明する機会や場は設けてはいなかった。現状としては継続ということである。

【今井委員】

3月議会で決定するため、その後どうなるのかまでは分からないということか。現段階では変更なしとの認識でよいか。

【藤井係長】

検討はしているが、現段階では見直し等はないということである。

【今井委員】

例えば、3月議会の中で、春日山荘は廃止するべきとの意見が出て急になくなるといったことはなく、現状の案のとおりということか。

【鷺澤委員】

当初は、耐用年数等も過ぎたことから廃止の提案があり、様々な人達、特に参加している人たちから続けて欲しいとの要望があった。春日地区からの参加者が3分の1を超えていることもあり、重要なポイント等の変更があった際には説明してほしい。仮に3月議会にて予算が確定した際には説明があると思っている。現在は担当課が要

望を受けてはいるが、まだ結論は出てないとの理解でよいか。また予算決定後説明はされるのか。

【藤井係長】

まだ廃止の方向にはなっていないため、例年の事業を来年度も継続する予定で予算案を提出したということである。

【吉田 実委員】

認識を共有化したい。まず春日山荘は現在、上越市社会福祉協議会の持ち物であり、運営もしている。上越市社会福祉協議会としては、年々補助金がカットされてきている状況であるため、財政的に赤字の事業はやめたいと考え、現在受講されている利用者にはっきりと「やめる」と言っているわけである。その中で、自分は、趣味の講座は市から春日山荘に引き継いだものもあるため、うかつにやめることはできないと、釘を刺したわけである。そういった背景の中で、来年度は実施するというだけである。自分も趣味の講座に通っている人に聞いた際、来年度はやるみたいだと話していた。そのため、やらないといった決定はまだ保留ということである。鷺澤委員の意見としては、保留であるため状況は把握しておいてほしいという趣旨だと思う。

【吉田会長】

春日山荘についてはわかり次第、また報告してほしいと思う。

最後に次第3 その他の(2) 次回の開催日の確認について事務局より説明を求める。

【藤井係長】

・次回の協議会の開催について、協議すべき案件がないことを説明

【吉田会長】

先ほど協議した「次期委員への申し送り事項」について多くの意見が出た。それを踏まえ、次回の地域協議会を開催するか否か、またどんな議題を審議するのかについて意見を求める。

【今井委員】

今期地域協議会委員の任期は4月28日までである。もし本日、次回の開催の有無を決めなければ、本日が最後になってしまう可能性もあるのか。個人的な意見としては、4月は新規委員の募集等でバタつくことも考えられるため、来月頃に最後の締めのお会は必要だと思う。

【吉田会長】

地域協議会を開催する用意はある。委員各自の意見として、開催についてどう考えるのかということである。

【今井委員】

本日も意見がいろいろと出たこともあり、まとめとしてもう 1 回程度の開催が必要だと思う。

【太田委員】

3 月に最後のまとめとして地域協議会を開催することはよいと思う。今回活動報告会のまとめの部分でいろいろな意見が出た。事務局の手間にはなってしまうが、本日出た意見等を反映した資料を活動報告会用に作成してもらい、一度委員に郵送して目を通し、それで何か意見等があった場合には開催するといった方法をとることができるのであれば、3 月に地域協議会を開催してもよいと思う。時間的に日数もないためその方法が難しいのであれば、あとは事務局に任せてもよいと思っている。

【藤井係長】

活動報告会用の資料作成については、時間がないため、分科会のリーダーに確認いただくこととしたいと考える。

【吉田会長】

3 月に開催したほうがよいか。

【太田委員】

開催する場合、議題が必要である。

【吉田会長】

自分としては、今回協議した「次期委員への申し送り事項」について、どのようにまとめていくのかを協議してもよいと思っている。本日の協議内容で問題なければ次回開催はなくてよいと思う。事務局の説明を求める。

【藤井係長】

先ほどの話では、2 月 28 日開催の活動報告会の説明内容・資料については、各分科会のリーダーとの調整により決定することとした。3 月に地域協議会を開催する場合、活動のまとめという意見が出たが、まとめを行うとしたら、どのような議論を行うか。

【吉田会長】

採決を取る。3 月にもう 1 回開催したほうがよいと思う委員は挙手願う。

(4 人挙手)

開催しなくてもよいと思う委員は挙手願う。

(8人挙手)

それでは次回の開催はしないことに決定する。各分科会のリーダーは申し送りの件も含めて活動報告会までに内容等をまとめてほしい。

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。